

大阪府臨床工学技士会

たより

編集: 大阪府臨床工学技士会 編集委員会

発行: 大阪府臨床工学技士会 事務局

【お知らせ】

平成19年度第14回大阪府臨床工学技士会総会を5月27日(日)に開催いたします。

また、毎年5月に総会と同日開催していましたが「学術集会」は、この時期に他の学会が多く開催され、併せて新人技士からの一般演題の応募には時期尚早であることから、一般演題が集まりにくいとため、次回より秋の開催に変更いたします。それに伴い、秋に開催していましたが「学術セミナー」を今回より総会と同時開催いたします。

たより 目次

- お知らせ 1
- 第10回大阪府臨床工学技士会学術セミナー 開催報告 1、2
- 病院機能評価について 2
- 平成19年度第14回大阪府臨床工学技士会総会 開催案内 3
- 第11回大阪府臨床工学技士会学術セミナー 開催案内 3
- 施設紹介 ～大阪厚生年金病院～ 4、5
- 大阪府医療機器安全確保対策専門委員会からの報告 5
- ご案内 6
- お願い 6
- ☆ 編集後記 6

本文

第10回大阪府臨床工学技士会学術セミナー 開催報告

セミナー長 桜橋渡辺病院 ME科 前川正樹

大阪府臨床工学技士会では昨年、平成18年11月19日(日)に大阪医専マルチホールにおきまして第10回学術セミナーを開催いたしました。「致死的不整脈に対応するME技術」をテーマとしまして各方面から著名な講師の先生方をお招きし、当技士会員だけでなく他府県の工学技士、他職種の皆様にもご参加いただき多様な勉強の場となりました。

基調講演の大阪医科大学講師(大阪ライフサポート協会所属)小林正直先生からは、絶え間ない心臓マッサージの重要性をはじめとする最新のエビデンスを講演いただき、突然に発症する心肺停止に対応する基礎知識を学ぶことができました。教育講演では突然死のリスク判断、ICDやAEDの基礎知識の講演をいただき、各メーカーの皆様には除細動器やICD、AED展示の御協力によって、実際に機器に触れていただける機会を設けることができました。

現在の中心となる心肺蘇生ガイドラインとして2005年11月に国際蘇生法連絡委員会(ILCOR)が発表したもの(CoSTR)があり、日本版救命処置ガイドラインも2006年に発表されています。ガイドラインは救急蘇生の現場における救命率の向上を目指してさらに更新されていきます。我々医療従事者は今後もさらに研鑽を続け、常に最新の蘇生知識と技術を身につけておくことが重要だと再認識することができました。この場を借りまして講師の先生方、御協力いただいた皆様、御参加いただいた皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。



会場風景



小林正直 先生

病院機能評価について

『病院機能評価』とは、財団法人日本医療機能評価機構が行っている事業の一つです。

財団法人日本医療機能評価機構は、国民の医療に対する信頼を揺るぎないものとし、その質の一層の向上を図るために、病院を始めとする医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関です(財団法人医療機能評価機構ホームページより)。

2007年1月22日現在、2,299の医療機関が認定を受けています。

一度受けた認定を更新するためには、5年後に再審査を受ける必要があります。現在、認定のバージョンも『5』となっており、要求されるレベルがアップしています。

病院機能評価では、医療機器の管理など、臨床工学技士の役割が明確に要求されています。審査の準備過程や実際の受審でしっかり対応することにより、業務の方向性が定まったり、院内での貢献度がさらにアップしたりするチャンスでもあります。

3月24日に開催されます、北摂ME研究会の第8回勉強会のテーマが『病院機能評価に向けた医療機器管理について』となっていますので、参加できれば参考になると思います。

詳細は以下のホームページアドレスでご確認ください。

北摂ME研究会

<http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/hp-me/hokusetsu/index.htm>

平成19年度第14回大阪府臨床工学技士会総会 開催案内

平成19年度大阪府臨床工学技士会第14回総会を開催いたします(第11回大阪府臨床工学技士会学術セミナーと同日開催となります)。ご多用中とは存じますが、会員の皆様はぜひご出席賜りますよう、お願い申し上げます。

開催日時：平成19年5月27日(日)9:30~10:00

開催会場：大阪市立大学医学部附属病院 5階講堂 大阪市阿倍野区旭1-5-7 06-6645-2392

第11回大阪府臨床工学技士会学術セミナー 開催案内

セミナー長 ベルランド総合病院 医療機器管理室 村中秀樹

5月27日に予定しています学術セミナーは、「臨床工学技士が関わる医療安全」をメインテーマとしました。医療機関における安全性の確保は最優先項目となり、医療の質を向上するための必須条件となっています。しかしながら医療事故および医事紛争の件数は増加の一途をたどっています。中でも医療機器に関連した医療事故は非常に高い割合を占め、われわれ臨床工学技士が中心となって医療安全に関わることが、たいへん重要であると考えます。今回、国立医療科学 安全管理研究科の第1期修了生で、安全管理に関して各方面でご活躍中の楠本茂雅先生に基調講演をお願いし、教育講演3題を企画いたしました。これらの講演をもとに活発な討論と情報交換の場となる充実した学術セミナーを目指しておりますので、臨床工学技士以外の職種の方もお誘い合わせの上ご参加いただきますようお願いいたします。

開催日時：平成19年5月27日(日)10:30~15:30

開催会場：大阪市立大学医学部附属病院 5階講堂 大阪市阿倍野区旭1-5-7 06-6645-2392

テーマ：『臨床工学技士が関わる医療安全』

【プログラム&タイムスケジュール】

- | | |
|-------------|---|
| 10:00~ | 受付 |
| 10:30~10:40 | 開催挨拶 |
| 10:40~12:10 | 基調講演 「医療安全管理者から望まれる臨床工学技士像(仮)」
講師：楠本茂雅 先生 (ベルランド総合病院 医療安全管理室)
司会：野口浩一 (副セミナー長 大野記念病院 臨床工学科) |
| 12:10~12:20 | 休憩 |
| 12:20~13:00 | ランチョンセミナー「演題名未定」
共催：キリンビール株式会社 医薬カンパニー |
| 13:00~13:20 | 休憩 |
| 13:20~14:10 | 教育講演1 「モニタの安全管理」
講師：山形 実 先生 (株)日本光電工業 品質管理本部 安全管理室
司会：永島信浩 (府中病院 医療機器管理室) |
| 14:10~14:20 | 休憩 |
| 14:20~14:50 | 教育講演2 「体外循環業務における安全管理(仮)」
講師：吉田 靖 先生 (大阪労災病院 臨床工学室)
司会：勝賀瀬 朗 (大阪厚生年金病院 臨床工学室) |
| 14:50~15:20 | 教育講演3 「血液浄化業務における安全管理(仮)」
講師：中西秀紀 先生 (白鷺病院 医療安全管理課)
司会：南 伸治 (池田病院 臨床工学技士室) |
| 15:20~15:30 | 閉会挨拶 |

施設紹介

<大阪厚生年金病院 <http://www.okn.gr.jp/>>



日本医療機能
評価機構認定



働きやすい病院
評価認定



大阪府「男女いきいき・
元気宣言」事業者登録



「にっけい子育て
支援大賞」受賞

【病院の概要】

所在地：大阪市福島区福島4丁目2番7号 TEL：06-6441-5451（代）

FAX：06-6445-8900

病床数：565床

正職員数：約670名

診療科目：プライマリケア教育研修センター（救急部）、内科、神経精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、リウマチ外来、スポーツ医学センター、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション、歯科口腔外科、病理科、内視鏡センター、女性医師外来、女性がん検診、禁煙外来

【臨床工学室の生い立ち】

当院におけるME部の生い立ちは、昭和53年に透析室に2名のME（当時は臨床工学技士が資格としてなかったため、医療電子技術員などと呼ばれていました。）が採用されたことから始まりました。以来平成8年まで2名で主に透析業務を担ってきました。平成8年に1名が採用され、臨床工学技士が3名となったところから徐々に業務を拡大し、手術室業務、人工呼吸器の管理業務を行うようになりました。平成9年循環器外科開設に伴い、体外循環業務を開始し、平成12年、1名の増員によって現在は4名の臨床工学技士が配属されています。平成13年度以前は、4名の臨床工学技士がそれぞれ、透析室、麻酔科、集中治療室に所属し、それぞれの業務を担ってきました。平成13年4月より「循環器科ME部」として組織され、4名の臨床工学技士がどの部署の業務も補えるように業務を展開しています。平成17年4月に「臨床工学室」と名称変更し現在に至っています。

【業務内容】

1. 血液浄化業務

透析室のベッド数は20床。透析室、集中治療室、病棟において、慢性透析から特殊血液浄化まで幅広く対応しています。

2. 手術室に関する業務

手術室は9室（うち、バイオクリーンルーム2室）あり、年間の手術件数は約5700件となっています。

- 1) 人工心肺業務（年間症例数は40～50症例）
- 2) 医療機器管理業務
- 3) その他、整形外科領域における術中自己血回収装置の使用（年間約180症例）、勉強会の開催、麻酔導入時に使用する物品の準備など。

3. 手術室に関する業務

手術室は9室（うち、バイオクリーンルーム2室）あり、年間の手術件数は約5700件となっています。

- 1) 人工心肺業務（年間症例数は40～50症例）
- 2) 医療機器管理業務
- 3) その他、整形外科領域における術中自己血回収装置の使用（年間約180症例）、勉強会の開催、麻酔導入時に使用する物品の準備など。

4. 集中治療室業務

血液浄化業務、PCPS・IABPなどの補助循環業務、人工呼吸器の定期点検。

5. 院内医療機器管理業務

人工呼吸器、ネブライザに関しては、中央管理化し、使用前後の点検、定期点検を行っています。その他の機器に関しては、トラブル発生時の対処を行っています。

6. 医療用ガスの管理業務

毎日、医療ガスの残量、動作状況などを点検します。

7. その他

医療機器に関する講習会の開催、大阪ハイテクノロジー専門学校・広島国際大学より実習生指導 等



【おわりに】

医療事故は大きな社会問題となっています。当院でも医療事故防止のための取り組みが重要な課題となっており、臨床工学技士は医療の安全の一端を担う資格として、院内で果たす役割が年々増えています。臨床工学技士が日々研鑽し、業務の充実、他のスタッフとの十分なコミュニケーションが医療の安全につながっていくものと考えます。

今後、臨床工学室をますます発展させ、院内における責任を確実に果たすことのできる組織となるよう努力していきたいと思います。

《勝賀瀬朗 記 E-mail: oknce-as@okn.gr.jp》

大阪府医療機器安全確保対策専門委員会からの報告

平成17年4月1日改正薬事法が施工され、医療用具から医療機器へ法律上の呼び方が変更された。大阪府健康福祉部薬務課医療機器グループでは、平成17年に大阪府医療機器安全確保対策委員会を設置し、医療機器の安全確保に関して調査・議論を行っている。平成17年度は、医療機器の実態調査（アンケート）を府下563施設に依頼し、381施設から回答を得た。詳細については、ホームページ上の「病院における医療機器の使用及び保守点検状況等に関する調査結果」を参照していただきたい。

<http://www.pref.osaka.jp/yakumu/kiki/anzen/anzen.html>

また、「病院における医療機器安全性対策の講演会」を開催した。平成18年度は、大阪府下で営業している医療機器製造業者及び製造販売業者へのアンケート調査を実施した。その結果については、現在分析中であり分析が済み次第ホームページにアップロードする予定である。今後、委員会の活動に関して随時報告していく予定である。

報告者： 瀧脇栄治 生涯教育担当理事

* ご案内 *

第17回 日本臨床工学会

及び 平成19年度社団法人日本臨床工学技士会総会
会期;2007年5月12日(土)・13日(日)
会場;名古屋国際会議場
テーマ;技術と知識の融合～緊密なる連携～

☆ 学術勉強会 ☆

予定

3月24日(土)……(代謝部門)
※3月17日(ME部門)から変更になりました。
4月21日(土)……(循環部門)

詳細につきましてはいつもの通り、
はがきでご連絡いたします。

学術委員会からのお知らせ

会場準備の都合等により、2007年より
学術勉強会の開催時刻を18:00より
18:30に変更させていただきます。

事務局からのお願い①

5月27日(日)に、平成19年度第14回
大阪府臨床工学技士会総会が開催される予
定です。4月中旬頃には、会員の皆様へ総会
の議題及び議案書を送付させていただきますの
で、ご確認下さい。また、総会への出欠を
同封の葉書にてご返信下さるよう、ご協力
の程よろしくお願い申し上げます。

事務局からのお願い②

会員の皆様への郵便物の不達が見受けら
れます。転居、転勤などによる連絡先の変更
があった場合は、速やかに事務局まで速やか
にご連絡下さるようよろしくお願い申し上
げます。下記の新しくなりましたホームペー
ジアドレスからでも会員情報変更手続きが
できます。

<http://www.osakace.com/>

お願い

大阪府臨床工学技士会では一人でも多くの
会員が増えることを望んでおります。皆様方
のお知り合いで未入会のかたがおられましたら、
是非、ご入会をお勧めください。下記の新しく
なりましたホームページアドレスから入会手
続きができます。

<http://www.osakace.com/>

編集後記

- ・ たより通巻第7号をお届けします。
- ・ 今回、「施設紹介」を企画しました。
いかがだったでしょうか?
- ・ 2007年度は年3回の発行予定です。
- ・ ますますパワフルに活動していきたい
ので会員のみなさまのご意見をぜひ下
記の新しくなりました技士会メールア
ドレスまでよろしくお願いいたしま
す。

たより編集担当: 宮本哲豪
(淀川キリスト教病院)

大阪府臨床工学技士会 事務局
国立大学法人大阪大学医学部附属病院
MEサービス部内 楠本
Tel 06-6879-5095 Fax 06-6879-5098
e-mail info@osakace.com